

生活楽校 学びの杜

全国廃校活用支援センター

【目的】 全国の学校の廃校に関する利活用について

事前の準備から事後のフォローまで何でも相談に応じます。

【その背景と方法】

①全国各地で広がる廃校問題

過疎化、少子高齢社会、人口減少社会の現実と町村合併の結果、中山間地、離島が深刻。

しかし、都市部でもドーナツ現象、あるいはニュータウンにおいても...

②他方で地域の活力の見直し、地域遺産の再評価の動きもあり。

新しい農業、林業のスタイルと若者の価値観の変化、地域再生の動きも各地に見られる。

③各地の個々の動きをなるべく集約し、相談、提案しながら応援する

開設までの準備、開設後のフォローで自立できるよう息長く支援する組織が必要です。

これらを手軽に、フットワークよく運営できる、機能性をもった組織が必要。

あるものを活かして、お金を余りかけない（人・物・金）組織が必要です。

そのため、樹庵ネットワーク内に支援センターのセクションを設け、実務はNPO ぎふいび生活楽校に委託し、収支の責任はそこが担うこととし、1年間取り組んでみる。（15年間の経験が蓄積されているが、暗黙知状態であり、形式知化するには一定期間必要）

その上で、将来設計を検討することとしたらどうだろうか？

各地の現地主義・当事者責任を前提にして、その自立を支えるサポート役とする。

あくまでボトムアップ型が望ましい。

①廃校に関する情報の集約

②各地の教育機関、行政をはじめ、国の支援政策や地域創生計画とのすり合わせ

③廃校活用計画の相談と立案のサポート

④活用開始後のフォロー

イベント、集客、利用者増加策、運営

上記のための人材は今あるもので対応する。しかし、いつまでも手弁当では限界があるので、運営費等は寄付カンパと何らかの助成金・補助金にトライする。

年中無休 24 時間対応

※皆さんのオンデマンド Everyday Anytime OK!です。
究極の働き方改革実践中です。

日常的に相談に応じます

年中365日、24時間対応します。

(日曜・祝日でも、夜でも早朝でも対応します)

事前に予約アポイントしてください。

ご都合の良い時にお越しください。

※当方からの出張も可能です。その際、交通費の実費のみご用意ください。

事務所： ☎501-1316

岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲木曾屋 180

ラーニングアーバー横蔵 内

電話 0585-55-2236

担当 小林 正美

携帯電話 090-3125-8469

HP <http://www.juann.jp>

FB でもご確認ください。

相談は無料ですが、会の運営のため実費相当をご寄付いただけると助かります。

相談体制 (Support Staff)

責任者 小林 正美

JUON NETWORK 副会長・ぎふいび生活楽校理事長

(有)樹庵（宿泊研修施設）代表取締役

非常勤スタッフに、建築士、元公務員、会計士、元銀行員、元教員や、
現役の学生若手ボランティアを多数抱えています。